

平成29年産さとうきびの収穫面積及び収穫量

— 収穫量は前年産に比べ18%減少 —

【調査結果】

1 収穫面積

収穫面積は2万3,700haで、前年産に比べ800ha（3%）増加した。

これは、株出し栽培が増加したためである。

2 10a当たり収量

10a当たり収量は5,470kgで、作柄が良好であった前年産に比べ20%下回った。

これは、前年産に比べ相次ぐ台風の通過による茎葉の損傷や倒伏被害等が多く発生したためである。

なお、10a当たり平均収量対比は101%となった。

3 収穫量

収穫量は129万7,000tで、前年産に比べ27万7,000t（18%）減少した。

図1 収穫面積の推移

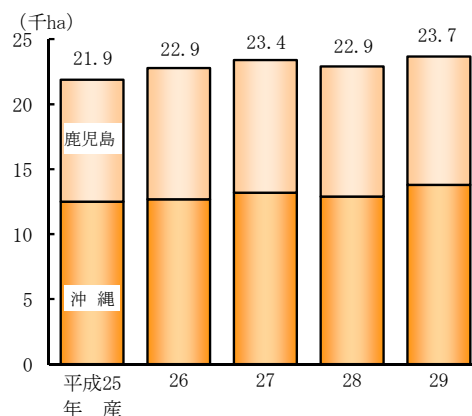


図2 10a当たり収量及び収穫量の推移

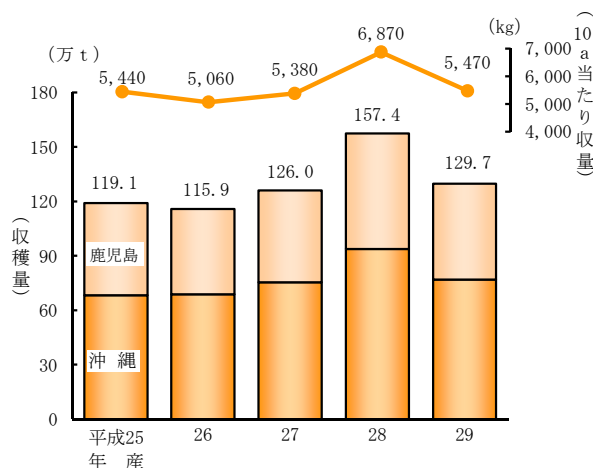


表 平成29年産さとうきびの栽培面積、収穫面積、10a当たり収量及び収穫量

区分	栽培面積 ha	収穫面積 ha	10a 当たり 収量 kg	収穫量 t	前年産との比較						(参考)		
					栽培面積		収穫面積		10a 当たり 収量	収穫量		10a 当たり 平均収量 対比	10a 当たり 平均収量
					対差	対比	対差	対比	対比	対差	対比		
全国	28,500	23,700	5,470	1,297,000	△300	99	800	103	80	△277,000	82	101	5,410
鹿児島	11,100	9,880	5,350	528,500	△300	97	△120	99	84	△108,000	83	104	5,130
沖縄	17,400	13,800	5,570	768,900	0	100	900	107	77	△168,900	82	99	5,640

注：「(参考) 10a 当たり平均収量対比」とは、10a 当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a 当たり収量の比率である。

- 栽培面積とは、さとうきびが栽培されている面積（当年産の収穫を意図するものに加え、苗取り用、次年産の夏植えの収穫対象とするもの等を含む。）をいう（以下各統計表において同じ。）。
- 収穫面積とは、当年産の作型（夏植え、春植え及び株出し）の栽培面積のうち実際に収穫された面積をいう。なお、その全てが収穫放棄されたほ場に係る面積は収穫面積には含まない（以下各統計表において同じ。）。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y13 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ さとうきびに関する生産振興に資する各種事業（強い農業づくり交付金等）の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和 22 年法律第 185 号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

1 さとうきびの栽培面積、収穫面積、10a 当たり収量及び収穫量の推移

年 産	栽培面積			収穫面積			10a 当たり収量			収穫量		
	全 国	鹿 児 島	沖 縄	全 国	鹿 児 島	沖 縄	全 国	鹿 児 島	沖 縄	全 国	鹿 児 島	沖 縄
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	kg	kg	kg	t	t	t
平成20年産	30,900	11,900	19,100	22,200	9,770	12,400	7,200	7,320	7,120	1,598,000	715,100	882,900
21	31,400	12,300	19,200	23,000	10,300	12,800	6,590	6,160	6,900	1,515,000	634,600	880,300
22	31,200	12,300	18,900	23,200	10,500	12,800	6,330	6,170	6,410	1,469,000	647,700	821,000
23	30,500	12,000	18,500	22,600	10,300	12,300	4,420	4,450	4,400	1,000,000	458,800	541,500
24	30,200	11,600	18,600	23,000	10,000	13,000	4,820	4,320	5,200	1,108,000	431,900	675,700
25	29,500	11,600	17,900	21,900	9,380	12,500	5,440	5,420	5,460	1,191,000	508,200	683,100
26	30,100	11,800	18,200	22,900	10,100	12,700	5,060	4,660	5,420	1,159,000	470,500	688,800
27	29,600	11,900	17,700	23,400	10,200	13,200	5,380	4,950	5,720	1,260,000	505,000	755,000
28	28,800	11,400	17,400	22,900	10,000	12,900	6,870	6,370	7,270	1,574,000	636,500	937,800
29(概数)	28,500	11,100	17,400	23,700	9,880	13,800	5,470	5,350	5,570	1,297,000	528,500	768,900

2 さとうきび作型別収穫面積割合の推移（全国）

単位：%

年 産	夏 植 え	春 植 え	株 出 し
平成20年産	34	16	50
21	32	17	51
22	30	18	53
23	29	18	52
24	29	18	53
25	27	14	59
26	29	16	55
27	26	15	60
28	24	13	63
29(概数)	22	12	66

資料：農林水産省統計部『作物統計』により算出（作型の解説は4ページ参照）

注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

◎ 関連データ

甘しゅ糖（さとうきび）の産糖量の推移

単位：千 t

砂糖年度	鹿 児 島	沖 縄
平成20年産	88	108
21	75	101
22	76	88
23	51	58
24	52	76
25	60	75
26	52	76
27	60	75
28	77	105
29

資料：農林水産省政策統括官調べ

注：1 砂糖年度とは、当該年の10月1日から翌年の9月30日までの期間をいう。

2 産糖量は製品ベースの数量である。なお、含みつ糖（黒糖など）は含まない。

3 「..」は未発表のものである。

【統計表】

平成 29 年産さとうきびの栽培面積、収穫面積、10 a 当たり収量及び収穫量

区 分	栽培面積	収 穫 面 積			
		計	夏 植 え	春 植 え	株 出 し
	ha	ha	ha	ha	ha
全 国					
平成 28 年産	28,800	22,900	5,400	3,040	14,500
29	28,500	23,700	5,130	2,880	15,700
対前年産差	△ 300	800	△ 270	△ 160	1,200
対前年産比 (%)	99	103	95	95	108
鹿 児 島					
平成 28 年産	11,400	10,000	1,290	1,790	6,950
29	11,100	9,880	1,110	1,660	7,110
対前年産差	△ 300	△ 120	△ 180	△ 130	160
対前年産比 (%)	97	99	86	93	102
沖 縄					
平成 28 年産	17,400	12,900	4,110	1,250	7,590
29	17,400	13,800	4,020	1,220	8,580
対前年産差	0	900	△ 90	△ 30	990
対前年産比 (%)	100	107	98	98	113

区 分	10 a 当 た り 収 量			
	計	夏 植 え	春 植 え	株 出 し
	kg	kg	kg	kg
全 国				
平成 28 年産	6,870	8,670	6,490	6,270
29	5,470	7,120	5,030	5,010
対前年産比 (%)	80	82	78	80
鹿 児 島				
平成 28 年産	6,370	8,020	6,520	5,990
29	5,350	7,240	5,150	5,100
対前年産比 (%)	84	90	79	85
沖 縄				
平成 28 年産	7,270	8,870	6,440	6,490
29	5,570	7,080	4,870	4,950
対前年産比 (%)	77	80	76	76

区 分	収 穫 量			
	計	夏 植 え	春 植 え	株 出 し
	t	t	t	t
全 国				
平成 28 年産	1,574,000	468,000	197,200	909,100
29	1,297,000	365,200	144,900	787,200
対前年産差	△ 277,000	△ 102,800	△ 52,300	△ 121,900
対前年産比 (%)	82	78	73	87
鹿 児 島				
平成 28 年産	636,500	103,500	116,700	416,300
29	528,500	80,400	85,500	362,600
対前年産差	△ 108,000	△ 23,100	△ 31,200	△ 53,700
対前年産比 (%)	83	78	73	87
沖 縄				
平成 28 年産	937,800	364,500	80,500	492,800
29	768,900	284,800	59,400	424,600
対前年産差	△ 168,900	△ 79,700	△ 21,100	△ 68,200
対前年産比 (%)	82	78	74	86

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び収穫量調査として実施したものであり、さとうきびの生産に関する実態を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料、さとうきびに関する生産振興に資する各種事業（強い農業づくり交付金等）の推進のための資料及び農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための基礎資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

鹿児島県及び沖縄県

(2) 調査対象者

全ての製糖会社、製糖工場等（以下「事業場」という。）

なお、製糖会社において所有する複数の製糖工場の実績が把握できる場合には、製糖工場を調査対象者とせず、当該製糖会社で一括して調査を実施している。

(3) 調査対象者数

事業場数 ①	有効回収数 ②	有効回収率 ③=②/①
事業場 84	事業場 55	% 65.5

注：有効回収数とは、集計に用いた事業場の数であり、回収はされたが、当年産において集荷実績がなかった事業場は含まれていない。

3 調査事項

作型別（夏植え、春植え及び株出し）の栽培面積、収穫面積及び集荷量

4 調査期日

収穫期

作 型	植 付 期	収 穫 期
夏 植 え	平成28年7月～9月頃	平成29年12月～平成30年4月頃
春 植 え	平成29年2月～4月頃	〃
株 出 し	平成28年産として収穫した株から発芽したもの	〃

5 調査方法

本調査は、事業場に対する往復郵送調査又はオンライン調査により行った。

6 集計方法

(1) 作付面積調査

事業場に対する調査結果を基に、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集の結果により補完している。

(2) 収穫量調査

事業場に対する調査結果を基に、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完している。

7 目標精度

本調査は、全数調査のため、目標精度は設定していない。

8 用語の解説

- (1) 「夏植え」とは、夏にさとうきびの茎を植え付け、発芽したものを翌年の秋から翌々年の春にかけて収穫する栽培方法をいう。
- (2) 「春植え」とは、春にさとうきびの茎を植え付け、発芽したものをその年の秋から翌年の春にかけて収穫する栽培方法をいう。
- (3) 「株出し」とは、前年収穫したさとうきびの株から発芽したものをその年の秋から翌年の春にかけて収穫する栽培方法をいう。
- (4) 「栽培面積」とは、さとうきびが栽培されている面積（当年産の収穫を意図するものに加え、苗取り用、次年産の夏植えの収穫対象とするもの等を含む。）をいう。
- (5) 「収穫面積」とは、当年産の作型（夏植え、春植え及び株出し）の栽培面積のうち実際に収穫された面積をいう。
なお、その全てが収穫放棄されたほ場に係る面積は収穫面積には含めない。
- (6) 「10 a 当たり収量」とは、実際に収穫された 10 a 当たりの収穫量をいう。
- (7) 「10 a 当たり平均収量」とは、原則として直近 7 か年のうち、最高及び最低を除いた 5 か年の平均値をいう。
- (8) 「10 a 当たり平均収量対比」とは、10 a 当たり平均収量に対する 10 a 当たり収量の比率をいう。

9 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- (2) 表中に用いた記号は、次のとおりである。
「△」：負数又は減少したもの
- (3) この資料に記載された数値を他に転記する場合は、「平成 29 年産さとうきびの収穫面積及び収穫量」（農林水産省）による旨を記載してください。

10 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（平成 30 年 8 月予定）するとともに、その後刊行する『平成 29 年産作物統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「工芸農作物（さとうきび・茶など）」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y13 】

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞大臣官房

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞政策統括官

http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/

お問い合わせ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3682

（直通）03-3502-5687

FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589

（直通）03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>



漁業センサス

平成30年11月1日現在で、水産業を営んでいる方などを対象に、2018年漁業センサスを実施します。

（流通加工調査については平成31年1月1日現在）

調査票が届きましたら、記入の御協力をお願いいたします。
また、調査票はオンラインによる回答も可能です。